

かわねほんちよう

議会だより

第71号
令和5年8月発行
発行/川根本町議会
編集/議会広報委員会

議会報告会 町内2ヶ所で開催
多くのご意見ありがとうございます…



- 5月臨時議会・6月定例会で決まったこと……………2・3
- 10月からの町公共交通について……………4
- 大井川鐵道災害現場調査……………5
- 一般質問 (7名) …………… 6~12
- 議会報告会・議会の動き・9月議会予定…………… 13
- 本川根小6年生、議会を傍聴して…………… 14



川根本町議会

議会報告会の様子 (文化会館)

5月臨時会

6月定例会

で決まったこと

5月臨時会は、19日に承認1件、議案5件が上程され、全員賛成で可決した。
6月定例会は、1日に報告が3件、また諮問2件及び議案9件が上程された。
定例会二日目の9日に、諮問及び議案をすべて可決した。

5月臨時会

〔承認(全員賛成)〕

○専決処分した事件の承認(税条例の一部を改正する条例)

給与所得に係る特別徴収税の納入の義務、法人の町民税の申告納付、たばこ税の申告納付の手続き、新築住宅に対する固定資産税の規定、軽自動車の環境性能割の非課税、賦課徴収の特例等。

〔工事請負契約の締結(全員賛成)〕

○川根本町立本川根学園(仮称)

契約金1億3750万円

○大河原建設株式会社

○川根本町立中川根学園(仮称)

契約金1億3200万円

○平井工業株式会社

○町道閑蔵線接岨トンネル照明等改修工事

契約金7678万円

○高橋電気工業株式会社

○普通河川足間沢河川災害復旧工事

契約金8305万円
株式会社梶山組

〔補正予算(全員賛成)〕

○一般会計

補正額5070万円を追加し、総額71億7370万円とするもの。

低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金210万円、斎場建設予定地崖対策のための測量630万円、プレミアム付商品券(新規)3千672万円LINEクーポン(当初予算に付増)557万円

6月定例会

〔諮問(全員賛成)〕

○人権擁護委員推薦

中村 弘 司 氏

(奥泉区)

森下 紹 子 氏

(元藤川区)

〔報告〕

○繰越明許費について

・令和4年度一般会計
災害復旧費(飲料水供

給施設、被災住宅修繕費、道路改修費、農地・農業施設復旧費、河川災害復旧工事、測量設計費など)6億3768万円

○令和4年度いやしの里診療所事業特別会計

オンライン資格確認機器整備事業71万5千円

○事故繰越しについて

・令和4年度一般会計
北部残土処分場整備事業144万6600円

〔条例の一部改正〕

○税条例(賛成多数)

森林環境税の導入に伴う改正により地方税法との整合性を図る。

配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除、扶養親族等申告書の記載事項の簡素化、個人の町民税の徴収方法、納税通知書等

○国民健康保険税

(全員賛成)

特例対象被保険者(非自発的失業者)の負担軽減

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準

を定める条例(全員賛成)

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(全員賛成)

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(全員賛成)

〔工事請負契約の変更の締結(全員賛成)〕

○尾呂久保飲料水供給施設 新設工事

変更請負金額1億4398万8900円(減額561万1100円)
株式会社梶山組



新設中の尾呂久保飲料水供給施設

〔総合事務組合規約の変更(全員賛成)〕

南伊豆地域清掃施設組合を加える。

〔補正予算〕

○一般会計(賛成多数)

2億2600万円増額し74億4千万円とするもの。

特別職官舎借上、鉄道代行バス、住民非課税世帯等臨時特別給付事業、産婦人科・小児科オンラインアプリ導入、斎場建設設計業務、接岨峡温泉水中ポンプ改修工事、林業施設(林道)災害復旧工事、公共土木施設(町道)災害復旧工事等。
斎場整備に関するアドバイザー業務委託165万円(債務負担行為による補正)

○いやしの里診療所事業特別会計(全員賛成)

遠隔支援医師回数増50万円

本会議質疑(抜粋)

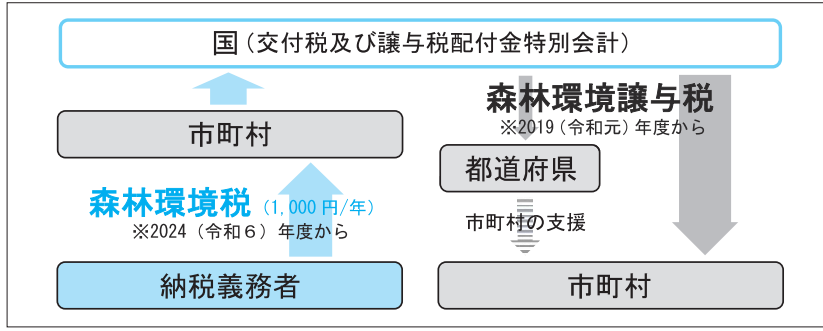
町税条例一部改正

問 森林環境税の納税義務者数と税収額は。

答 30000人で3000万円となる。

問 キックボードは軽自動車税の中に入るのか。
答 対象となる。

〈森林環境税と森林環境譲与税のしくみ〉



議案第35号
税条例の一部を改正する条例

反対討論

町面積の95%を占める森林を健全に保つための財源の確保には賛成だが、物価高騰等で町民の暮らしが困難に直面しているときに新たな税負担を導入するべきではない。交付税率の見直しや無駄なハコモノづくりを改めるよう求めてきた。復興住民税が終るので差し引き増税ではないとのことだが、少しでも負担減を図るべきだ。

賛成討論

この森林環境税は国税で、課税額は一人千円。森林保全が必要な市町や都道府県に森林環境譲与税の形で再配分する仕組みで、山林所有者にかわって間伐をし、林業の担い手を育成する事業などに活用される。我が町においても重要な税金であり、今後は地球環境の変動に柔軟に対応するために必要と考えるので賛成。

議案第42号
一般会計補正予算

反対討論

災害復旧事業費など、町民の暮らしを守る上で重要な事業の経費が盛り込まれているため、これらについて反対するものではない。特別職の住居官舎として、支払済みの住宅賃借料が計上され、議会の議決を待たずに契約執行したということに反対するものである。チェック機関としての存在意義が問われる問題だ。

賛成討論

議会の議決を得ないで4、5月分の賃貸料が支出されたというが、緊急性があった場合は、予備費や節内の流用というのは認められている。今回の補正はコロナ感染症対応や、住民の足となる鉄道代行バスの運行補助は住民生活に直結する予算である。町が進める「災害に強い町づくり」のため庁舎近くに居住し、緊急時に即時対応していただくために必要な予算と考える。

6月定例会で賛否が分かれた議案

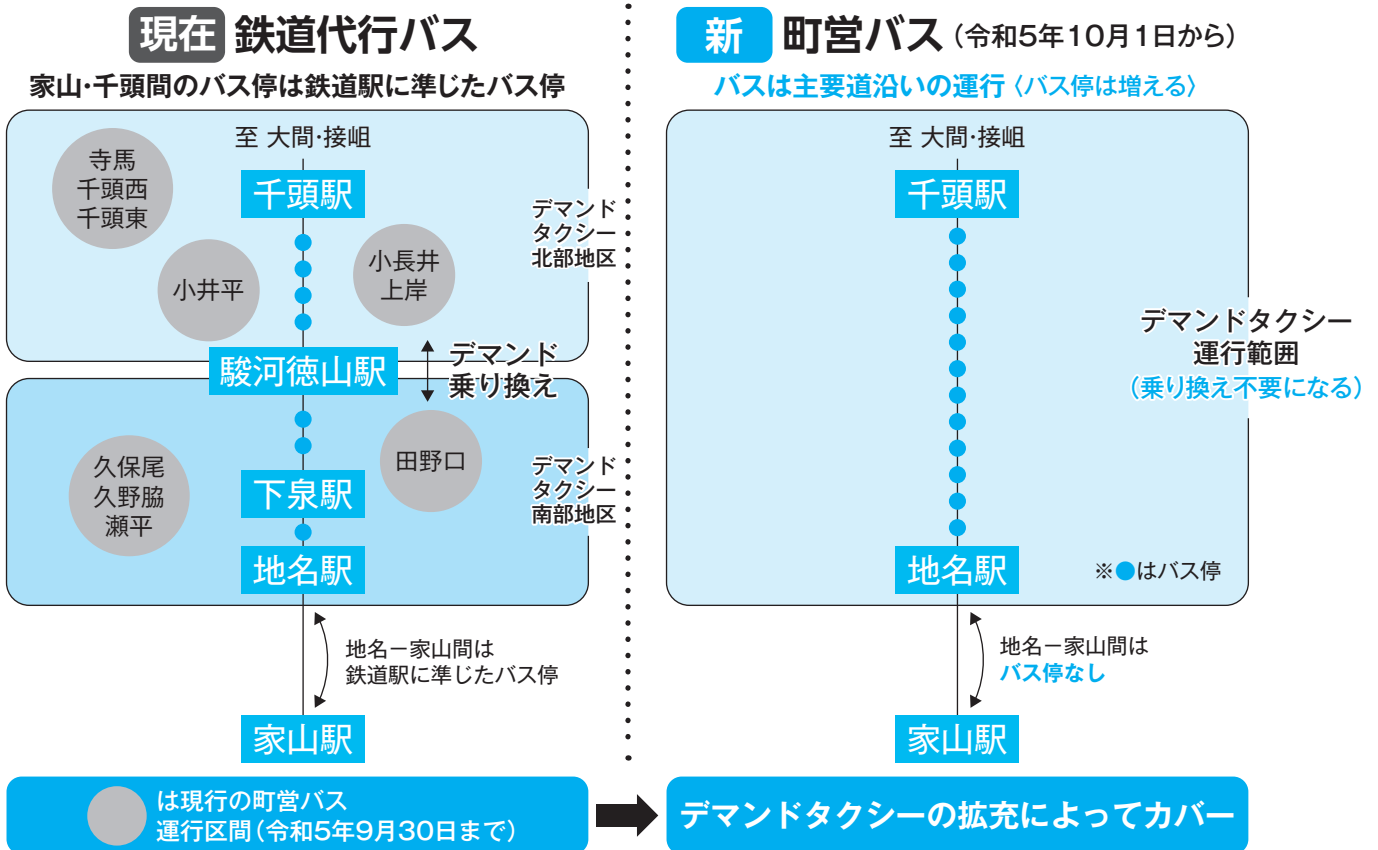
議案番号	件名	中原	中田	中澤	中野	野口	大竹	石山	澤西	藤田	中野	佐々木
議案第35号	町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第42号	令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※議長は、採決に加わりません。

川根本町の今後の公共交通機関について

川根本町では、令和5年10月1日から、千頭一家山間のバスについて、現在の鉄道代行バスから、町営バス（自主運行バス、コミュニティバス）に代わります。それに伴い、現在の町営バス路線の廃止、デマンドタクシーの拡充などの変化があります。

町民、観光客の“足”がどうなっていくのかの概要と、行政担当課からの説明に議会はどういう質問や意見をされたのかをお伝えします。



★ポイント

- 現在の町営バス路線は廃止となる。（路線の重複が道路運送法によりできないことから）
- 廃止区間はデマンドタクシーでカバーする。（料金の調整、台数、運行時間を拡充）
- デマンドタクシーの運行範囲が全町になる。（北部・南部を跨ぐ場合、乗り換えが不要になる）
- バス料金は安くなる。（鉄道代行バスと比較して、1/2程度）
- 町の負担は補助金により軽減。（県からの補助金や、特別交付税措置による）
- バス停は増える。
- ダイヤは鉄道ダイヤへの連結を考慮。□（具体的なことは8月中旬以降に行政から発表予定）
- SLの観光客については大井川鐵道が予約制バスを運行する。（家山ー千頭間、上下線）

議員からの意見➡行政からの回答（抜粋）

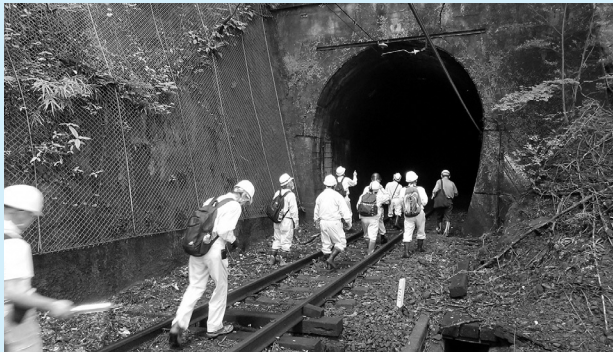
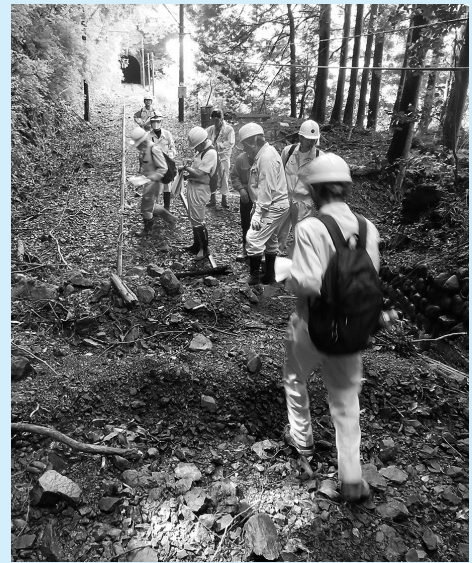
- 笹間渡、川根温泉への停車は➡島田市のバス路線と重複するのでできない。
- 自主運行バスの委託先を大鐵にした理由➡10月1日の運行開始に向けて、時間がないため。
- なぜ大型バスか➡通勤・通学者、個人観光客、利便性（荷物スペース）を考慮した。
- バス停や運行形態は、利用者の意見などで、変更していくのか➡検証しながら進めていく。



大井川鐵道本線災害現場 議会視察調査報告

未だ手つかずの厳しい現場…

昨年9月の台風15号による災害以来、不通となっていた大井川鐵道は、その後、金谷一家山間を開通させ、この10月には笹間渡駅まで開通される運びとなっていますが、そこから千頭までの川根本町区間は、未だ全く手つかずで、復旧の見通しは立っていません。県は本年3月から「大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会」を設置し検討していますが、この結論も未だ出されておられません。6月13日、町議会として大井川鐵道本線の町内の被災状況確認のため、大井川鐵道担当社員様のご案内をいただき、重大な被害個所の調査を実施しました。



※徒歩で現場調査を実施する議員の様子



どんな子どもでも遊べるユニバーサルデザインの視点を取り入れた公園
「インクルーシブ公園」(藤沢市秋葉台公園)



なか はら
中原
みどり
緑
議員



一般の町民ドライバーとその車両を活用した
「ノックルあさひまち」の状況

質問 地域公共交通は、共助・共創モデルで充実を

答え 町民の足は大事、皆さんの意見を聞き検討する

質問：町営バスのせせらぎ、やませみ号が廃止される。対策を伺う。

町長：デマンドタクシー時間延長で対応、運行車両増車も考えている。

質問：大鐵全線復旧後、自主運行バスは廃止か。新たな公共交通を考えるのか。運行計画を伺う。

くらし環境課長：同バス

質問 町民の足は大事、皆さんの意見を聞き検討する

答え 町民の足は大事、皆さんの意見を聞き検討する

質問：新たな移動手段として一般の町民ドライバーの力を借りた移動システムを検討してはどうか。

町長：先程、議員から御

質問：新たな移動手段として一般の町民ドライバーの力を借りた移動システムを検討してはどうか。

町長：先程、議員から御

質問 町のランドデザインに魅力ある公園を取入れては

答え 調査業務を基に、子ども子育て会議で協議をする

質問：新たな公園整備についてどのような対応を計画しているか伺う。

町長：来年度の子ども子育て支援事業計画の策定に向けて今年度は調査業務を行なう。その結果を受けて公園整備について

ご意見を伺い、対応する。質問：子育ての環境づくりに関して、子どもの

遊ぶ機会の充実を図る。とあるが、支援の効果と、問題点について伺う。

健康福祉課長：実施する調査業務の中で問題点等も含めて確認し検討する。

質問：「みんなの公園プロジェクト」を多様な町民の方々に構成し、立ち上げてはどうか。

健康福祉課長：現時点に

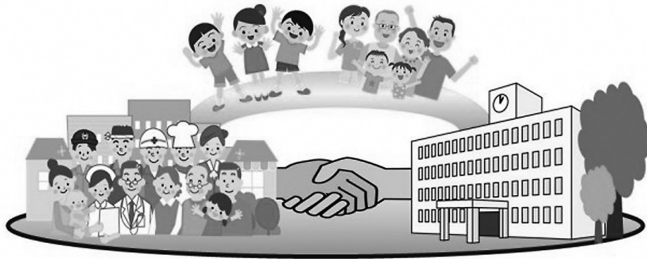
質問：ユニバーサルデザインの視点を取り入れたインクルーシブ公園があることは、本町に定住する要素にならないか。

町長：いろんな視点の中で取り組みたい。議員の知恵も借りていきたい。

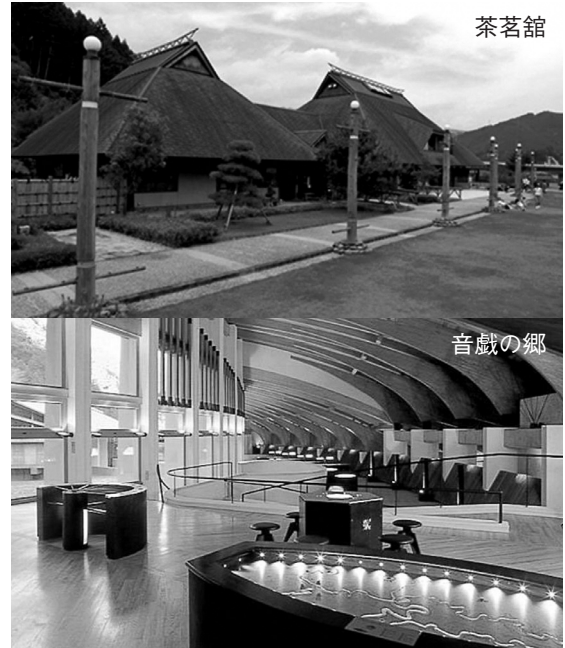
町長：いろんな視点の中で取り組みたい。議員の知恵も借りていきたい。



さ さ き なお や
佐々木 直也
議員



町全体で一体感ある「教育を」



茶茗館

音戯の郷

「道の駅」の最魅力化は町の大きな強みに

質問

2カ所「道の駅」の積極的な再解釈を。

答え

期限を定め協議し、必要な施策を講じる。

質問：「道の駅」に求められる機能について、十分だと感じているか。

質問：そのための具体的な方策は。

町長：十分だと言えない状況である。

町長：「音戯の郷」については、行政改革推進委員会の意見を踏まえ、令和7年度までに附属機関にて協議する。「茶茗館」については、農業農村振興対策委員会から、農業・商工業・観光業が連携し、道の駅としての充実

質問：時代の変化に伴い、「道の駅」に求められる機能も変わってきた。町長が考える理想形は。

町長：「音戯の郷」については、行政改革推進委員会の意見を踏まえ、令和7年度までに附属機関にて協議する。「茶茗館」については、農業農村振興対策委員会から、農業・商工業・観光業が連携し、道の駅としての充実

町長：目的地になるような賑わいの施設にしたい。

町長：附属機関の答申を参考に、色々な考えを持ちながら進めていく。

質問

「教育」について、町全体の一層の一体感を。

答え

理解を深められるような機会を計画したい。

質問：再編による、児童・保護者の影響は。

教育長：町内の小・中学校の授業を見て、具体的なアドバイスをすることや、教職員の研修内容を考えることをお願いしている。

教育長：通学方法の変化、人数の増加による生活上のルールの変化、新しい人間関係の構築の中で起こる問題などがあつたが、現在は平穏な状況である。

質問：来年度から義務教育学校が始まるので、川根本町が目指す教育を理解していただくには重要かつ、やりやすい時期だから計画していきたい。

質問：4月から新設された「川根本町型授業づくり研究員」の役割とは。

とと思う。ぜひ町全体で川根本町の目指す教育のイメージの統一を図る機会を作っていただきたい。

質問：4月から新設された「川根本町型授業づくり研究員」の役割とは。

教育長：地域の方に授業や行事を見ていただく機会を設けたり、これからの教育についてより詳しく理解いただく機会を、関係者と調整を図りながら計画していきたい。



災害対策本部の時系列のボード 早めの指示は町民を守る

のぐち なおし
野口 直次
議員



農道シマブレ線冠水状況 (6月3日)

質問 災害時におけるマニュアルの見直し改善点は

答え 今回の大雨でも早い時点での対応情報の共有

質問：昨年の台風15号の災害時と比べてマニュアルの見直し等改善された点は。

町長：主な改正は、災害発生前に配備体制要員に
くらし環境課職員を追加
と、孤立が予想される地
区へ要請を受けることな
く、防災応援職員を新た
に編成した。

質問：豪雨災害復旧工事
において、スピード感が
必要な時期に、現有の土
木建設業者等で、今回に
限り、十分対応ができる
のか。

建設課長：すでに町内の
土木事業に発注時期は知
らせており、必要に応じ
て、町外の事業者の参入
も検討している。

質問：今後の災害におい
て、給水車等の確保は考
えているか。

くらし環境課長：より広
域的な応援体制がとれる

ように日本水道協会と協
定を結んでいる。

質問：豪雨災害対策で倒
木等で、幹線ケーブル
(電柱)に危険があり事
前に防止対策等は、町と
して対処方法は持ち合わ
せているか。

デジタル推進課長：基本
的には、地主さん負担で
処理をお願いすることに
なる。町が行える対策と
しては森林環境譲与税の
関連事業として、産業振
興課が実施している危険
木、枯損木の伐採事業を
活用して行える場合があ
る。申請者は区になる。
危険木の伐採は、産業振
興課に相談をしてほしい。

質問：台風・豪雨等に
おいて、指定避難所はど
の時点で開設されるのか。

総務課長：今回は避難指
示発令前の警戒体制時点
で、避難所開設準備を区
長にお願いした、今後も

空振りとなっても、早め
早めに対応していく。
今回の大雨に対して指定
避難所は開設していない
が、広域避難が必要な場
合には、警戒本部、対策
本部の方で判断をして指
定避難所を開設する。

質問：緊急時、区・町・
消防団の体制はどのよう
になっているか。

総務課長：消防団への指
揮権は消防団長に限られ
ている。必要な場合には
役場に連絡して頂き、町
から消防団長に連絡し、
自主防本部への配備を対
応していく。

その他の質問
(従来型の防除体制の見
直し等農業関連)



いしやま きみお
石山 貴美夫
議員



大鐵代行バス（千頭駅バス停）



大鐵の存在は、町のPR効果に多大な影響が…

質問 全線開通されない大井川鐵道、町の考えは。

答え 流域・県中部の活性化のため全線復旧が必要

質問…大鐵の全線復旧が進まないが、町はどう考え、どう訴えているのか。
町長…沿線住民の生活の一部であり、観光・経済に不可欠。県中部の重要観光資源であり活性化に必要であると訴えている。
質問…大鐵が無くなると町・県中部に莫大なPR効果の損失が予想される。
町長…国・県、色々考え、この派遣は実に心強い調査派遣だと思った。
質問…町民の署名活動も活発化しているが。
町長…行政だけでなく、必要だと住民の意思表示は心強く思っている。
質問…町長先頭に、町を挙げて署名を持ってお願いに行く事が必要では。
町長…傍聴者も大勢だが、皆さんが立ち上がって頂いた事が重要。私も復旧に向け頑張っていきたい。

質問 現状での町民移動手段は。観光戦略計画は。

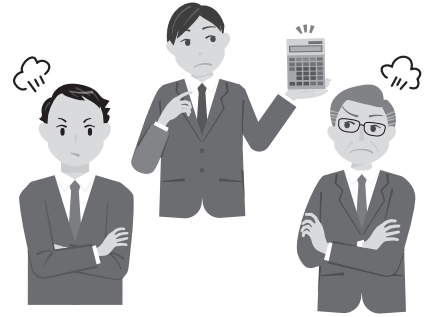
答え 大鐵復旧まで町バス運行。観光計画は策定中。

質問…10月から、家山までの町営バスは、島田コミ・バスへの接続が、町民から期待されているが、
くらし環境課長…鉄道に連携する形で運行するが、島田市とも協議していく。
質問…このバスは町の独自運営だが、予算計画は、
くらし環境課長…県補助金の活用、特別交付税も踏まえ検討している。
質問…南北1本線となるが町域は広い。全地区住民をどうフォローするか。
くらし環境課長…デマンドタクシー拡充で対応、実績で増車も検討したい。
質問…大鐵の代行という言葉を継続頂きたいが。
町長…空白期間を埋めるための運行である。
質問…策定中の観光戦略プランに、道路環境整備があるが、島田、金谷、静岡の3路線の内、1本を最重要生命線指定をして、孤立の町としないか。
町長…すべての道路について国県と折衝し努力したい。（質問全37問にお答え頂きました）



“ほんの数年の空白時間が…” 農用地区域の農地の姿

なか ざわ そう や
中澤 莊也
議員



用地交渉は難しい

質問 用地交渉等を専門に行う職員の配置を

答え 人員配置とその業務量を考慮して検討する

質問：茶草場農法に対する、観光・環境面からの取組み等は。

を深めながら、課題解消に向けた検討を進めていきたい。

かつスムーズに行われるよう、専門の職員を設置する考えはないか。

観光交流課長：生物多様性や茶園景観、体験、旅行商品として大変魅力がある。繁忙期である茶時の観光客受入は大変難しいとされてきたが、外国人人材の活用を検討するなど、産業振興課と連携

くらし環境課長：茶草場農法は、生物多様性にも大きな役割を果たしていることから、環境面においても、茶草場農法は推奨されるべき農業と考える。

町長：今後、全体の人員と用地交渉等の業務量を考慮しながら検討していきたい。また、現在の体制においても、用地交渉に支障がないよう最大限注意して進めていく。

質問 農振地域・農用地区域、早急な見直しを

答え 地域計画の策定後、令和7年度に見直す

質問：荒廃農地再生促進事業の成果と今後の取組みは。

区域の見直し等についての考えは。

地域計画策定の翌年（令和7年度）としたい。

町長：4年間で、延べ23経営体、約7haの農地を再生。今後も規模拡大など意欲のある担い手への経営に資するため、JA等と連携し、制度の普及と活用を図っていく。

産業振興課長：基盤整備などの事業を推進するため将来にわたって必要な土地を確保したいと考えている。

質問：農振地域整備計画の見直しの時期等は。

質問：農振地域・農用地

産業振興課長：地域計画との連動の必要性を鑑み、

産業振興課長：農振除外相談は、農業委員会で随時対応している。定期的な相談会の実施については、他の市町の状況を確認して対応していく。



さわにし しょうじ
澤西 省司
議員



南アルプスアプトライン



鹿の親子

質問 年間をとおして頑張った狩猟者に感謝の意を

答え 功労賞的な感謝は関係者と話し合って検討

質問：猟友会会員の50%が70歳以上であり、後継者問題は対策が必要ではないか。

町長：生活の多様化による狩猟者の減少であるが、講習会や模擬体験など、狩猟に関わる機会の創出や、補助金や報奨金の見直しなどについても併せて検討し、狩猟意欲の向

上に努めていきたい。

質問：南部地区の狩猟者の減少は、地区の住民が頼っていた狩猟者が年々

いなくなり大問題である。産業振興課長：地域や耕作地を自らで守ることも重要であり、あらゆる機会での現状等の発信や狩猟免許の取得を促進したい。質問：害獣捕獲数上位の

狩猟者の方は年間をとおして頑張っている。町は功労賞的な感謝の気持ちを表すべきと考える。

産業振興課長：提案された功労賞的な手法は、関係者の意見を伺いながら感謝の気持ちが伝わり捕獲意欲の向上に繋がるよう、施策を検討していきたい。

質問 始発駅千頭と終点井川駅の活性化は

答え 静岡市長と協議のうえ連携していきたい

質問：南アルプスアプトラインの利活用や宣伝の仕方など、千頭駅周辺の賑わいをどのように取り戻していくのか。

町長：南アルプスアプトライン周辺地域誘客協議会の事業の中で双方の地域が互いに活性化するように、モニターツアーや誘客事業を実施していく。

質問：アプトラインの沿線ではダンプカーも少なくサイクルトレインのイメージでコース設定などしたらいかがか。

観光交流課長：島田市川根本町をエリアとする大井川流域サイクルツーリズム協議会などでのコース設定も活用して検討していきたい。

質問：音戯の郷の完全リニューアルとして、全天候型の子供の遊べる広場を作り誘客につなげたらいかがか。

観光交流課長：町長の答弁のとおり、施設運用に関する方向性は早急に着手していきたい。他の質問「ヘルメット着用の努力義務について」



中川根デイサービスセンター

おお たけ かつ こ
大竹 勝子
議員



介護認定調査の様子

質問 基金を活用して介護保険料を下げられないか

答え 可能な限り保険料負担が増えないよう配慮

質問：要介護者が必要なサービスを受けられているか。

思うが、どうか。

町長：給与額は雇用主と雇用者との契約で町が介在できない。町では介護職員の研修料の補助などで、介護人材のスキル向上や担い手確保等の対応をし側面から就労支援する。

残高はいくらか。基金の活用で、介護保険料を、引き下げできないか。

町長：介護給付準備基金は、約1億6千万円となる見込み。

町長：サービス利用率は90・5%となっている。サービスを利用したくてもできないといった事案は確認していない。

質問：第8期介護保険事業計画の最終年度の基金

質問：介護職員が能力を發揮し、長く勤務できるように処遇改善が必要だと

質問：第8期介護保険事業計画の最終年度の基金

高齢者福祉課長：介護給付準備基金を有効に活用し、被保険者の保険料負担が増えないよう配慮したい。

質問 国へ保険証廃止の中止を求める考えはないか

答え 国の方針の中で、これからも推進していく

質問：カード（マイナンバーカード）について、保険医協会によれば、6割の医療機関で無保険になつていたり、別人の情報が入り付けられるなど重大なトラブルも伝えられている。当町では、カードでの不具合はないか。

誤りは、健康保険組合などの事務処理の誤りが原因で、市町村では、健康保険証がカードとして利用できるような登録の支援を行っている。

質問：カードの取得状況は。

町長：発生したカードと健康保険証のひもづけの

は、申請者と担当者が、確認しながら行っている。当町での苦情、トラブルは入っていない。

質問：国に対しては。町長：国の方針の中で誤りの原因は分かっているので、今後ともこは、推進していきたい。

町長：発生したカードと健康保険証のひもづけの

は、申請者と担当者が、確認しながら行っている。当町での苦情、トラブルは入っていない。

町長：国の方針の中で誤りの原因は分かっているので、今後ともこは、推進していきたい。

議会報告会

令和5年7月8日 19時～ 川根本町 文化会館
7月9日 19時～ 川根本町 山村開発センター

コロナ禍の影響で約5年ぶりの開催

令和5年7月上旬、議会報告会を町内2カ所で開催しました。議会から報告・説明の後、町民の皆さまと活発な意見交換をさせていただきましたので、ご報告いたします。

参加者

文化会館 14名
山村開発センター 18名

報告内容

- ・令和5年度当初予算の三本柱
- ・令和4年台風15号被害と復旧状況
- ・大井川鐵道本線災害現場の状況
- ・学校再編の進捗状況
- ・学校施設利活用検討委員会の進捗
- ・議員定数の検討に関する進捗状況

議会からの報告が約40分。その後、質疑応答が60分ほどあり、活発な意見交換がなされました。今回は約5年ぶりということもあり、段取りや説明内容、進行など、至らないところが多々あり、反省点もありました。今後も定期的に開催し、町民の方々へのご報告、意見交換を積極的に行っていく予定です。

アンケート結果(抜粋)

- ・年に一度ではなく、定期的に議会活動の様子を聞かせてほしい。
- ・質疑応答一件あたりが長すぎる
- ・オンライン配信・ライブ配信の検討を。
- ・参加者が少なく残念。
- ・問題山積みの中、全議員で住みよい町にしてほしい。
- ・行政に対して、議会としてどのような対応をしているかをもっと聞きたかった。
- ・直接、議員からの説明を聞ける機会は大切であると感じた。



議会報告会の様子 (山村開発センター)

◆ 9月定例会の日程 ◆

9月1日	金	定例会本会議 (9時～ 議場) 全員協議会 (本会議終了後 大会議室)
15日	金	定例会本会議2日目 (9時～ 議場) 全員協議会 (本会議終了後 大会議室)
27日	水	定例会本会議 (9時～ 議場)

※会期中に決算特別委員会が5日間開催されます。

- 議場・大会議室は、役場本庁3階です。
- 本会議、各委員会、全員協議会はどこでも傍聴できます。
- 日程は変更することもありますので、詳しくは、議会事務局 (56-2229) までお問い合わせください。

議会の動き

31日	30日	25日	24日	19日	5月	20日	4日・5日・14日・21日	3日	2日	4月	1日	6月
討委員会	学校施設利活用検討委員会	水道運営委員会 社会教育委員会	全員協議会 議会運営委員会	全員協議会 第2回臨時会	議会運営委員会 広報委員会 議会運営委員会	消防委員会 消防団辞令交付式	消防委員会	議会運営委員会 全員協議会	財政援助団体監査 定例会2日目・議会運営委員会・全員協議会	大井川鐵道本線被災現場視察 鉄道代行バスの町営バス化に関する状況説明 定例会3日目・全員協議会	大井川鐵道本線被災現場視察 鉄道代行バスの町営バス化に関する状況説明 定例会3日目・全員協議会	6月定例会初日・議会運営委員会・全員協議会

本川根小の6年生が、6月議会 一般質問を傍聴

6月議会最終日の6月21日、午前9時開会から9人の、本川根小の6年生が約1時間傍聴されました。感想文をお寄せくださいましたので、一部抜粋して、掲載させていただきます。



初めて議会を見たのでとてもワクワクしました。もし、ぼくも議会に出る事になったら、あきらめずに最後まで自分の意見をいikirたいです。また、議会を見に行きたいです。議会を見に行かせてくれて、ありがとうございました。ぼくもよい川根本町になるように考えていきたいです。

今日は議会を見学させていただき、ありがとうございました。今日見せて頂いた議会見学では、質問に具体的に答えたり、その内容について深く考えたりしていました。二つの事を授業にもいかしていきたいです。

議会見学に行くのは初めてで、川根本町の公園やバスの事について、すごくしんけん話し合ってくれて、うれしかったし、いつも学べないことを、たくさん学んだり知ったりできました。今日は議会を見学させていただき、ありがとうございました。

私は議会を見てみて、議員さんの発言でインシブル公園について話し合っていた場面がありました。そこで、確かにみんなが楽しむということは、とても大切なことで、私もそんな公園があるとうれしいと思います。「楽しむ」というキーワードで学校生活のことや、今の町を明るくするために、私にはどんな事が出来るか、たくさん考え直す事が出来ました。貴重な時間をありがとうございました。

議会を見学させていただき、町の人たちは、川根本町を良くするために、たくさん考えて、働いてくれていることがわかりました。さらに、町民のことまでしっかりと考えてくれて、川根本町をもっともり上げていきたいという思いが、伝わってきました。ありがとうございました。

私は、地域のためにしんけん話し合ったり、わからないことは、聞いたりにして、とても私にはできないなと思いました。私も話し合いの時には、積極的に話したいです。今日学んだことを授業に活かしていきたいです。見学をさせていただきありがとうございました。

議会を見に行かせてもらいありがとうございました。始めて議会を見学しました。川根本町の事を本気で考えていて、その質問に対する解決方法などを話し合い、それをどうするか、そのために何をするか、たくさん考えていました。この話し合いがあるからこそ、どんどんいい町になるんだなと思いました。このたびは、ありがとうございました。

初めて見学したので、最初は緊張していました。僕も議員と似ている考えを持っていたので共感できました。議員さんの川根本町を良くするための考えも聞けて、自分の町に対する思いを深められました。僕も川根本町に住んでいる人が快適に過ごしたり、悩みの無い生活や、全員が過ごしやすい町になって欲しいです。

見学に行かせていただきありがとうございました。私達の町のために、いっぱい質問して、いっぱい答えている事に、感謝しています。私達も、授業で町を良くする事について、考えているので、もしよかったら案に入れて下さると嬉しいです。

少年高齡化は日本全体の課題。我が町は更にその10年先を行く前例のない高齡・過疎の町。課題は次々わいてくるが、町民みんなが、安心して心豊かに、ゆったりと過ごせる町になるには、どうすべきか：私は、この思考の原点から、絶対にぶれずに進む事だと改めて誓った。焼き付ける日差しの中、草をむしりつつ。

石山貴美夫

編集後記